

まほろん

通信



企画展紹介

「復興祈念展」

一人ひとりのいとなみの継承

レポート

「まほろん感謝デー」

「まほろん森の塾」活動報告

連載 まほろん
学芸員のひとりごと

常設展示室資料紹介

「古墳時代の石製模造品」

団体利用案内



公式Instagram



公式YouTube

復興祈念展

前期展
1/25(土)～3/16(日)
4/1(火)～5/6(火)

専門学芸員
吉野 滋夫

まほろん令和6年度企画展

この企画展では、^{ちゅうかんちやう}中間貯蔵施設^①建設地内の遺跡と浪江町・富岡町・^{ならは}楡葉町の^{ひろのおだか}県道広野小高線^②整備に伴う遺跡調査の成果を、まほろんにある資料と、各町からお借りした資料で、前期展と後期展にわけて紹介します。

● 中間貯蔵施設に伴う調査
● 県道広野小高線に伴う調査

赤坂D遺跡(後)
鹿屋敷遺跡(後)

銅谷迫遺跡(前・後)
後迫B遺跡(前・後)
郡山貝塚(前)
沼ノ沢古墳群3号墳(前)
郡山五番遺跡(前)
陳場沢窯跡群(前)

梨水平遺跡(前・後)
南沢遺跡(前)
北台遺跡(前)
女迫遺跡(前)

毛萱館跡(後)
南代遺跡(前)

江戸時代の錫杖頭
(双葉町後迫B遺跡)

奈良時代の軒丸瓦
(双葉町郡山五番遺跡)

浪江町
双葉町
大熊町
富岡町
楡葉町

僧侶や修験者が持ち歩く杖の頭部分です

建物の軒先を飾る瓦です

縄文時代後期の無頸壺
(大熊町南沢遺跡)

突起が10個あります

弥生時代の石庖丁
(大熊町北台遺跡)

稲穂を摘むための農具です

① 中間貯蔵施設

2011年3月11日に発生した東日本大震災の津波被害とそれに伴う福島第一原子力発電所事故により、福島県内では大量の汚染土壌等が発生しました。この汚染土壌等を最終処分するまでの間、貯蔵する施設で、福島第一原子力発電所のある双葉町と大熊町に整備されました。

② 県道広野小高線

広野町から南相馬市小高区までを結ぶ県道です。東日本大震災以降は海岸部集落から高台への避難路、復興計画に係る各開発地域を結ぶ主要路線となっています。



※(前・後)…前期展・後期展
(前)…前期展
(後)…後期展

この企画展を通じて故郷に
いにしえの人びとの宮み^{いとしな}が
あったことを知り、みなさん
が地域の歴史を継承すること
の大切さに気づくきっかけに
なればと思います。

レポート

まほろん感謝デー

11/2(土)・3(日)・4(月)
9:30～16:00

ご来館
ありがとうございました!

今年の感謝デーは企画展「この木、なんの木? 前田遺跡!」にまつわる体験メニューやクイズをご用意しました。クイズ「まほろんクエスト」では難しい上級編にも多くの挑戦者があられ、火おこし選手権では熱い戦いが繰り広げられました。



大好評のバックヤードツアーをはじめ、那須高原ビジターセンター、国立那須甲子青少年自然の家の体験ブースや、アクアマリンふくしまの移動水族館も出展され、大盛り上がりの3日間でした。



火おこし選手権のようす



まほろんクエスト上級編に挑戦中



バックヤードツアー

第1回(6/9)	昔のどうぐ
第2回(7/7)	土笛づくり 企画展見学
第3回(9/8)	滑石製石庖丁づくり お米についてみつけよう
第4回(10/20)	地図づくり、稲刈り
第5回(12/8)	地図をつかってみよう 企画展見学 お正月飾りづくり(しめ縄)

「まほろん森の塾」活動報告

文：青木 愛子(学芸員)



ながら学んできました。

はじめにバケツ稲の田植えをしました。続いて、千歯こきや唐箕、稲わらで作った日用品に触れ、今の機械との違いや米づくりと生活の繋がりを学びました。その後、弥生時代のお米づくりを学び、自分たちで制作した石庖丁でお米を収穫する体験へとつなげていきました。

の成果として、自分たちで作った地図を使って保護者と一緒に館内を見学しました。自分が描いた絵はどこなのか、保護者に直接見てもらい、楽しそうに会話をしている様子が見受けられました。

今年度は「お米づくり」を通じて、現在から昔へさかのぼり、人々のくらしや技術のうつりかわりを考えることをテーマに5回の活動を行いました。

前半では、バケツ稲を育てることを中心に、お米づくりから見た歴史や社会の仕組みの変化を、体験活動を通じて、

後半は、まほろんの常設展示や野外展示を活用した「地図づくり」をしました。塾生たちが「お米づくり」に関する言葉や展示品を探して絵を描き、「地図」にするというものです。

この活動では3人の高校生に協力してもらいました。活動を通して、高校生と小学生とは異なる視点があることに気づき、お互いに良い経験になったようです。

最終回では、自ら育て、稲刈りした稲わらを使ってしめ縄づくりをしました。わら縄を絢うことの大変さを体験しました。

また、活動

また、活動



※今年度の第24期塾生の活動の成果は、当館常設展示室にて展示予定です(2月中旬~予定) ご来館の際は、ぜひご覧下さい。なおHPでも活動の様子を公開しております。

【御礼】ご協力ありがとうございました。
JA 全中 (JA 夢みなみ) 様：バケツ稲の無償提供 福島白河依工芸 高橋・添田様：しめ縄づくり指南
高校生有志のみなさん：グループワーク「お米についてみつけよう」補助



まほろん 学芸員の 第三回 文 廣川 紀子 (専門学芸員)

開館当初から、まほろんの特色のひとつが体験学習事業です。例えば「勾玉づくり」や「火おこしに挑戦」など、体験活動室で行っている「いつでもできる体験」や、「土器づくり」などの実技講座、団体利用や各種イベントでの体験、『まほろん森の塾』での活動などがあてはまります。

私がこれまでに担当したまほろんの仕事では、この体験学習に関わるものが多かったように思います。先日の感謝デーでは、企画展の前田遺跡にちなんだ体験メニューが用意されていました。そのような新しいメニューの開発もその仕事のひとつとなります。

まほろんの体験メニューは、昔の人のくらしの様子やものづくりの技術を学びながら、文化財に親しみ、関心を持つだけでなく、関心を持つことが目標です。

体験はいいのですが、新しいメニューを考え始めると、ついつい皆さんに喜んでもらいたい、楽しさやかわいらしさのイメージだけがふくらんでしまうことがあります。そのため、先輩学芸員から伝えられた「本物の材料、本物の道具、本物の技術を提供する」という言葉を思い起こすことにしています。なかなか難しいのですが、そのような体験学習とすることが目標です。

まほろんの常設展示室では各時代の食卓が再現されており、時代ごとの特徴的な遺物も展示しています。



展示してある石製品 (赤矢印のケース内)

古墳時代の食卓の脇には、郡山市正直 A 遺跡から出土した石製品が展示してあります。これらは石製模造品と呼ばれているもので、古墳時代にあった「モノ」の形を真似して、石でつくったものです。丸いものは鏡、五角形のは剣、そして、三日月形のは勾玉をかたどったモノと考えられます。石製模造品は、当初はモデルの形を忠実に真似して作っていましたが、時代を経るごとに作り方が簡略化されて板状になっていく傾向があります。



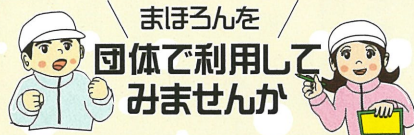
常設展示室「古墳時代の食卓」

正直 A 遺跡の勾玉形石製模造品は、本来の勾玉と同じ形をしたものと、板状のものが混在している特徴があります。

その主な使用場面は祭祀の場であったと考えられています。正直 A 遺跡では、多くの土器と石製模造品が集中して見つかった場所がありました。その場所で、古墳時代の人たちは、土器の中に食べ物を入れ、貴重な実物の代わりに石製模造品を捧げものとして、祭祀を行ったのではないかと考えられています。



石製模造品が見つかった様子



歴史学習の一助として、宿泊学習のプログラムの一環として、昔の暮らし・道具についての調べ学習等に、当館を利用してみませんか。公民館活動や子供会などのご利用も大歓迎です！また、全館バリアフリーになっております。日程調整やご要望に合わせた見学プランをご提案いたしますので、お気軽にご連絡ください。

【展示見学】

- ・常設展示室 (所要時間 30分程度)
- ・野外展示施設 (所要時間 30分程度)
- ・特別展示室 (所要時間 30分程度)
- ・バックヤード (所要時間 30分程度)



バックヤード見学

【体験活動】

- ・勾玉づくり (約 70分・体験料 350円)
- ・火おこし体験 (約 30分・体験無料)
- ・ミニミニ土器づくり (約 60分・体験料 200円)
- ・昔の道具にふれてみよう (約 40分・体験無料)



昔の道具



ミニミニ土器づくり

※他にも学年に合わせたメニューを多数ご用意しています。詳しくは、まほろんホームページをごらんください！



野外体験広場での昼食



特別展示室

今後の行事予定

- 1/25 (土) ~ 3/16 (日) 企画展「復興祈念展一人びとのいとなみの継承―」【前期】
- 1/18 (土)・19 (日) 実技講座「縄文土器づくり」①：成形、②：成形・施文
- 1/25 (土) 実技講座「縄文土器づくり」③：ミガキ・調整 (自由参加)
- 1/26 (日) 「復興祈念展」関連講演会 1「銅谷迫遺跡・後迫B遺跡の調査について」※参加無料・申込不要
- 2/15 (土) 第5回館長講演会「時間の考古学」
- 3/1 (土) 「復興祈念展」関連講演会 2「福島県における復興調査について」※参加無料・申込不要
- 3/9 (日) 「縄文土器づくり」④：野焼き (自由参加)

※詳細はまほろんへお問合せいただくか、まほろんホームページをご覧ください。

編集後記

まほろんでは毎年、年末の休館日に職員一同で大掃除をします。建物だけでなく職員もしっかり休んで心身共にピカピカにし、新年にお客様を気持ちよく迎えられるよう準備をしております。明るく元気に 2025 年もどうぞよろしくお願いいたします。



まほろん
通信
vol. 94

令和 7 年 1 月 2 2 日 発行

開館時間 9:30 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)
休館日 月曜日 (2/10、2/24 を除く)、
年末年始 (12/28 ~ 1/4)、2/12、2/25、3/21
入館料 無料 (体験学習によっては、材料費が必要となる場合があります。)



〒 961-0835 福島県白河市白坂一里段 86
☎ 0248-21-0700
Fax 0248-21-1075
ホームページ まほろん



ホームページ



ホームページ